

心理学A 基礎心理学入門 心理学101

第10回 認知・記憶

2017年6月28日

人間科学部 上村卓也

- Course Power
 - 出題: 6月22日
 - 締切: 7月5日
- 締切後に正解が見れる
- 何回でも提出可(締切後でも提出可)
 - 締切前に提出した場合
 - 締切前の、最後に提出されたものを採点
 - 締切までに提出がなかった場合
 - 初回の提出のものを採点
 - 得点を半分にする
 - 締切前と締切後の両方に提出した場合
 - 締切前の、最後に提出されたものを採点

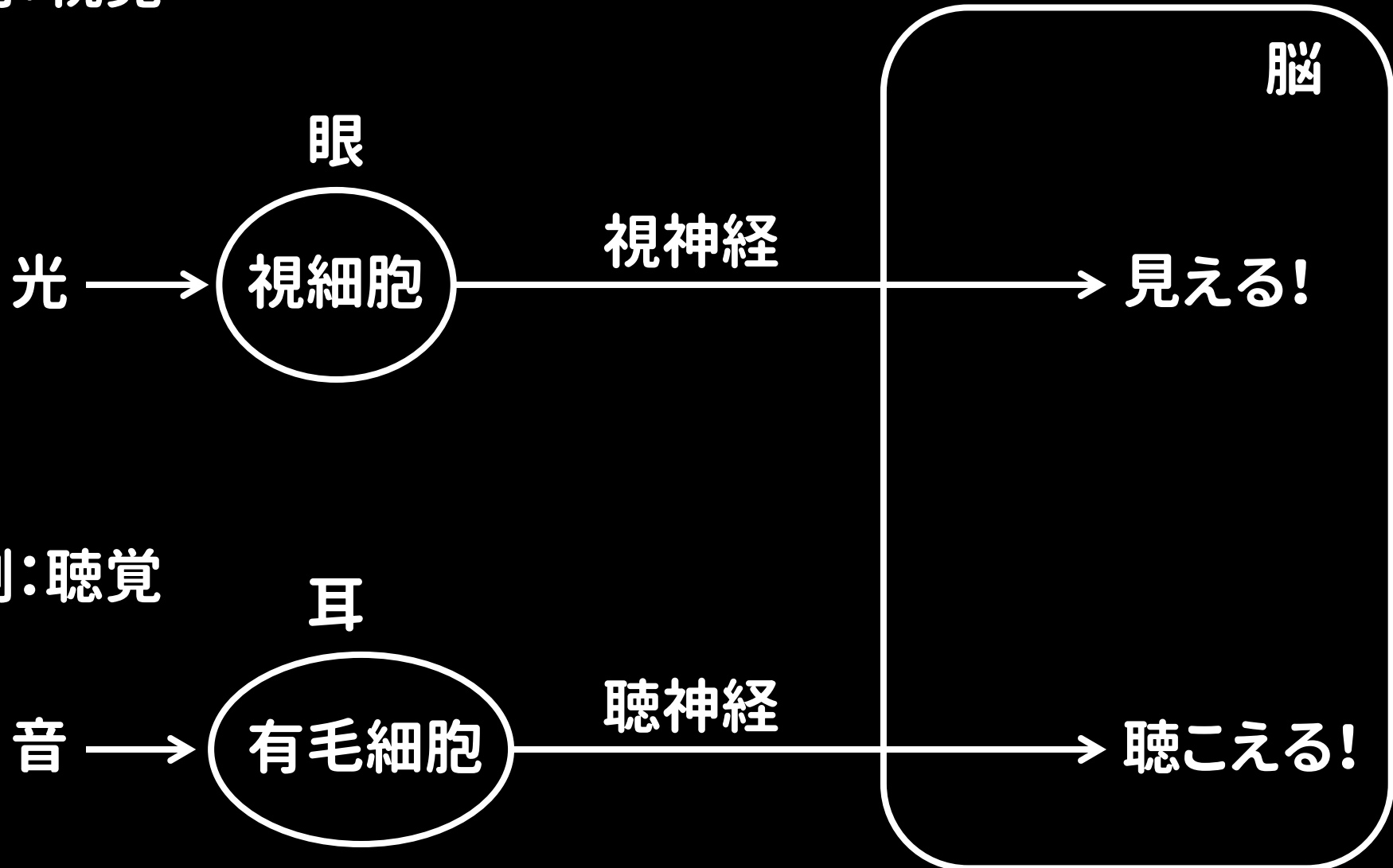
授業の予定

- 4月12日 導入(講義の概要・心理学の諸領域)
- 4月19日 神経系
- 4月26日 知覚概要・視覚(眼)
- 5月10日 視覚(網膜・視覚皮質)
- 5月17日 聴覚(音)
- 5月24日 [休講]
- 5月31日 聴覚(耳)
- 6月7日 聴覚(耳・聴覚神経系)
- 6月14日 嗅覚・味覚
- 6月21日 体性感覚・知覚の弁別
- 6月28日 認知概要・記憶
- 7月5日 記憶の神経機構
- 7月12日 言語の神経機構
- 7月19日 思考
- 7月26日 脳の機能区分

知覚

● 外界を感じる心のはたらき(見る・聞く・・・など)

● 例: 視覚



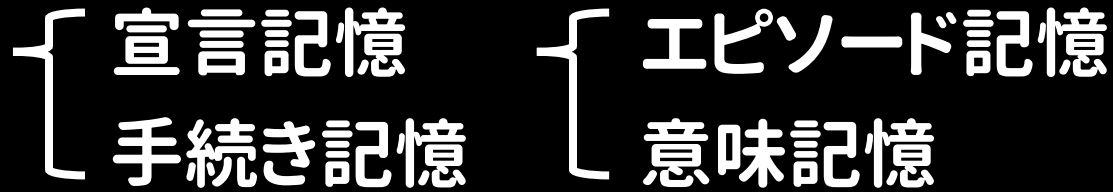
● 例: 聴覚

- 感覚：比較的単純。より低次。
- 知覚：比較的複雑。より高次。
- 認知：記憶・思考などを用いてさらに高次な情報を作り上げるはたらき。

記憶

●分類

- 感覚記憶
- 短期記憶
- 長期記憶



●流れ

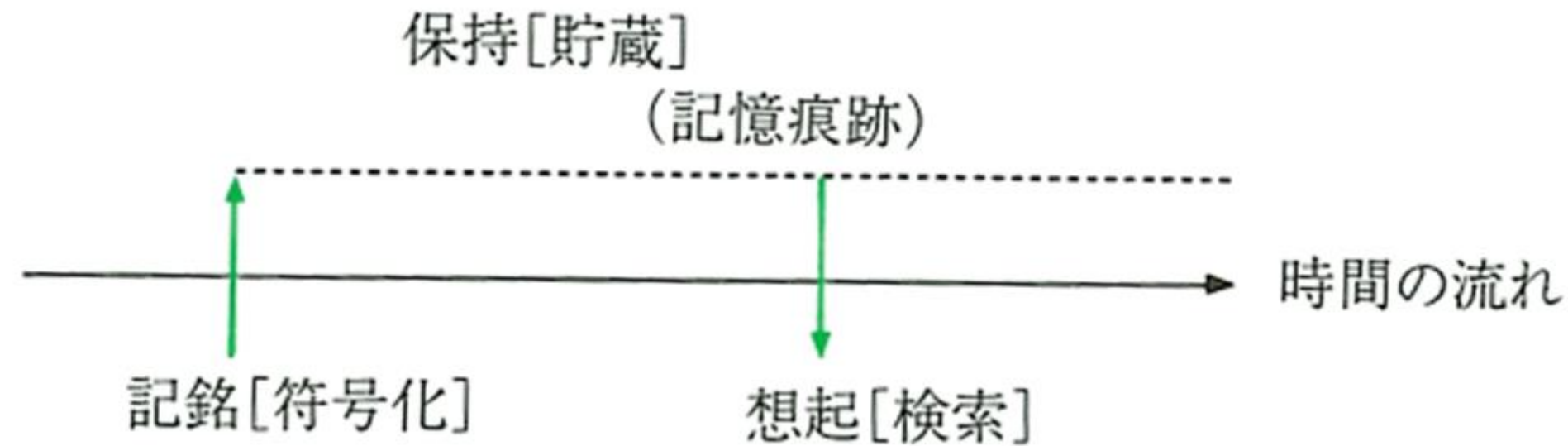


図5-3

感覚記憶

- 感覚情報をほぼ完全な形で保持
- 視覚
 - アイコニックメモリ
 - 数百ミリ秒
- 聴覚
 - エコニックメモリ
 - 数秒

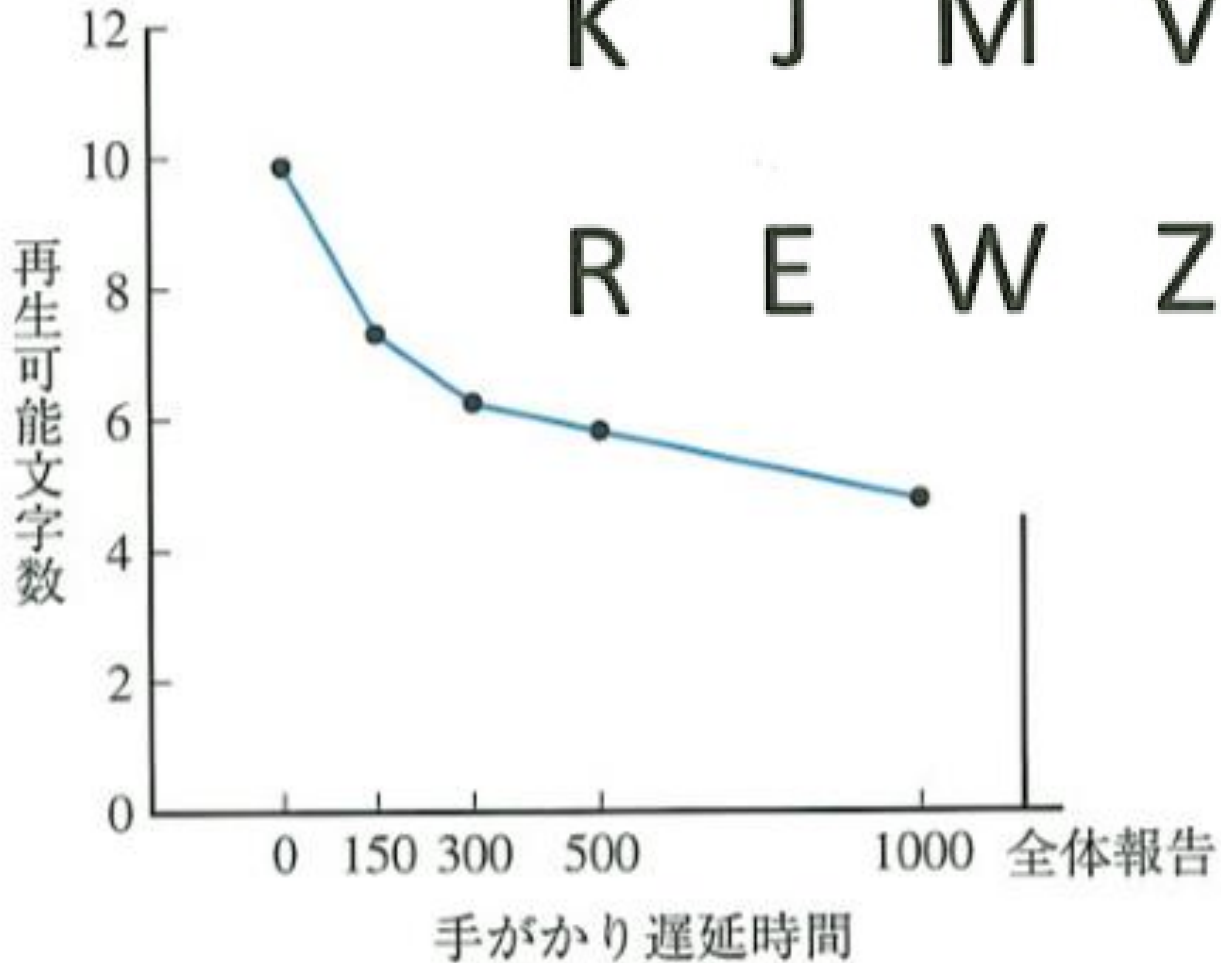
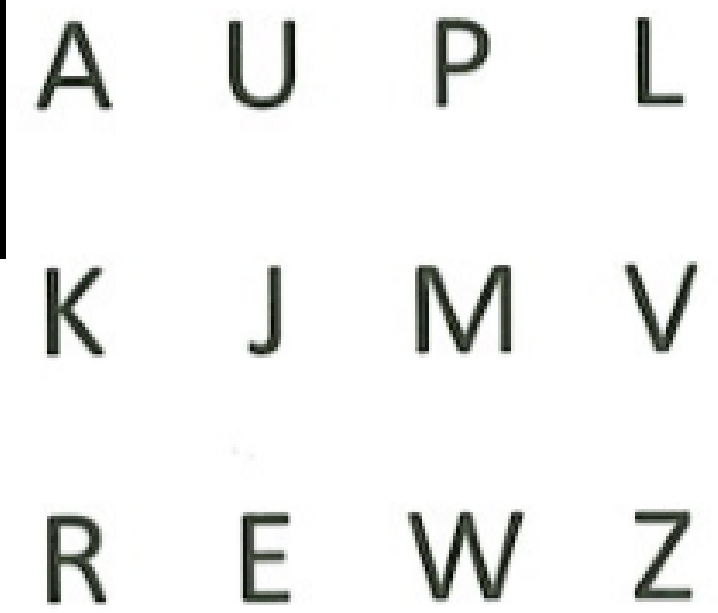


図5-4

短期記憶

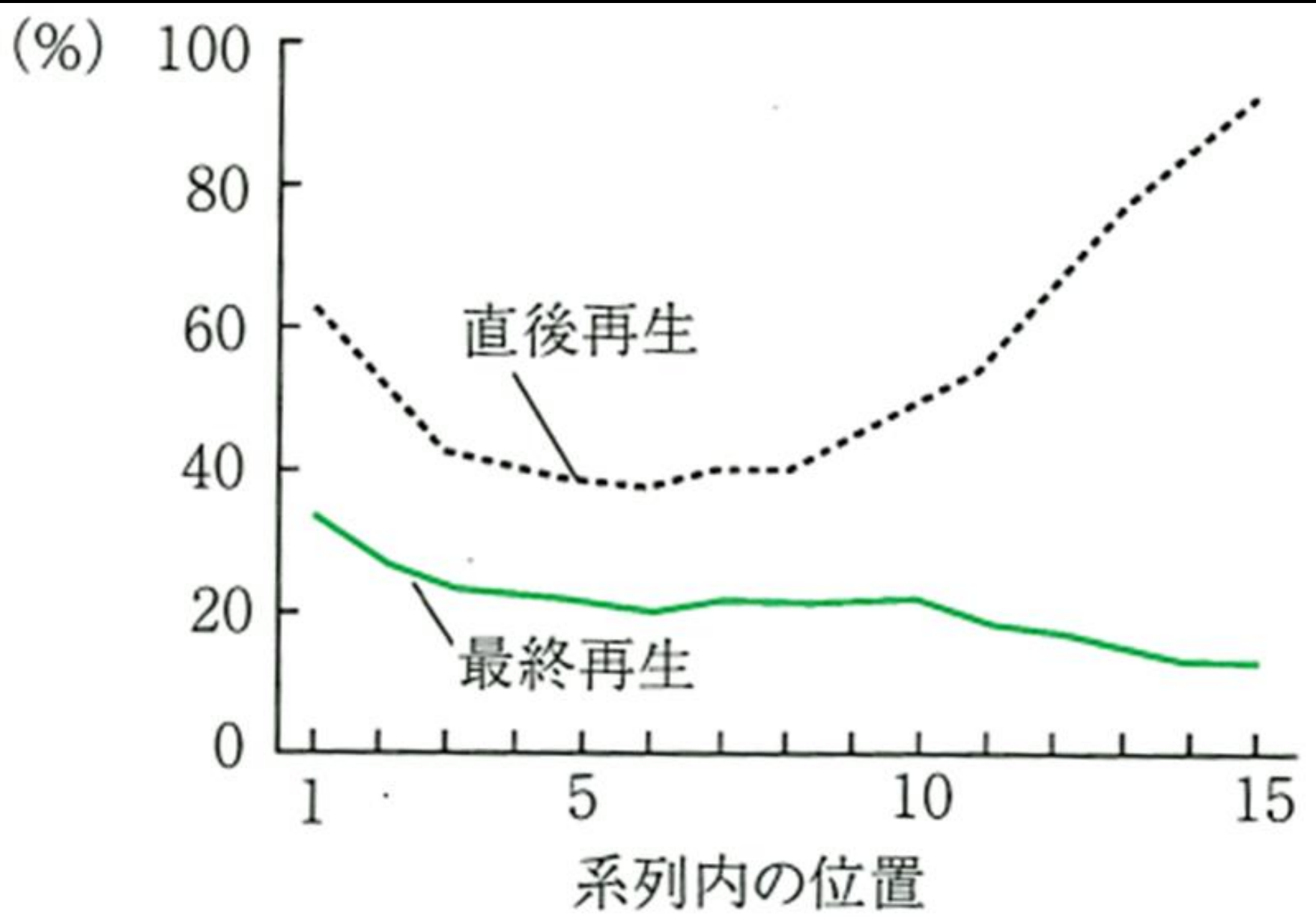
- 数秒～数十秒
- 情報の保持+処理 → 作動記憶(ワーキングメモリ)
- 頭の中で反復・長期記憶の検索、など

- 保持できる要素の数
 - 7 ± 2 程度
 - 複雑な処理を行う場合 → 4 ± 2 程度

系列位置効果

●10-20語を記録→自由な順番で想起

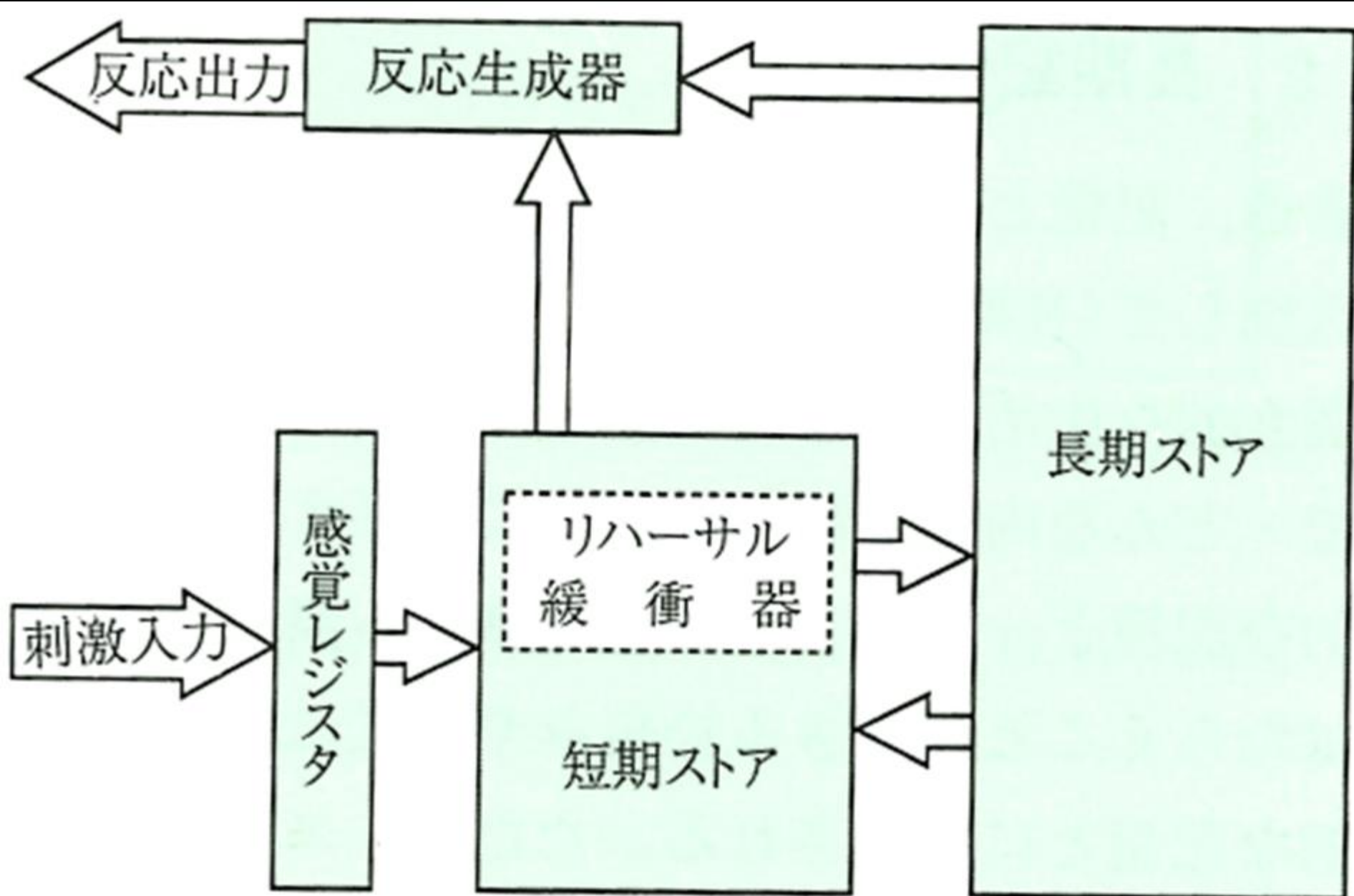
図5-5



長期記憶

2017.06.28
Takuya KOUMURA
cycentum.com

- ほぼ永続的



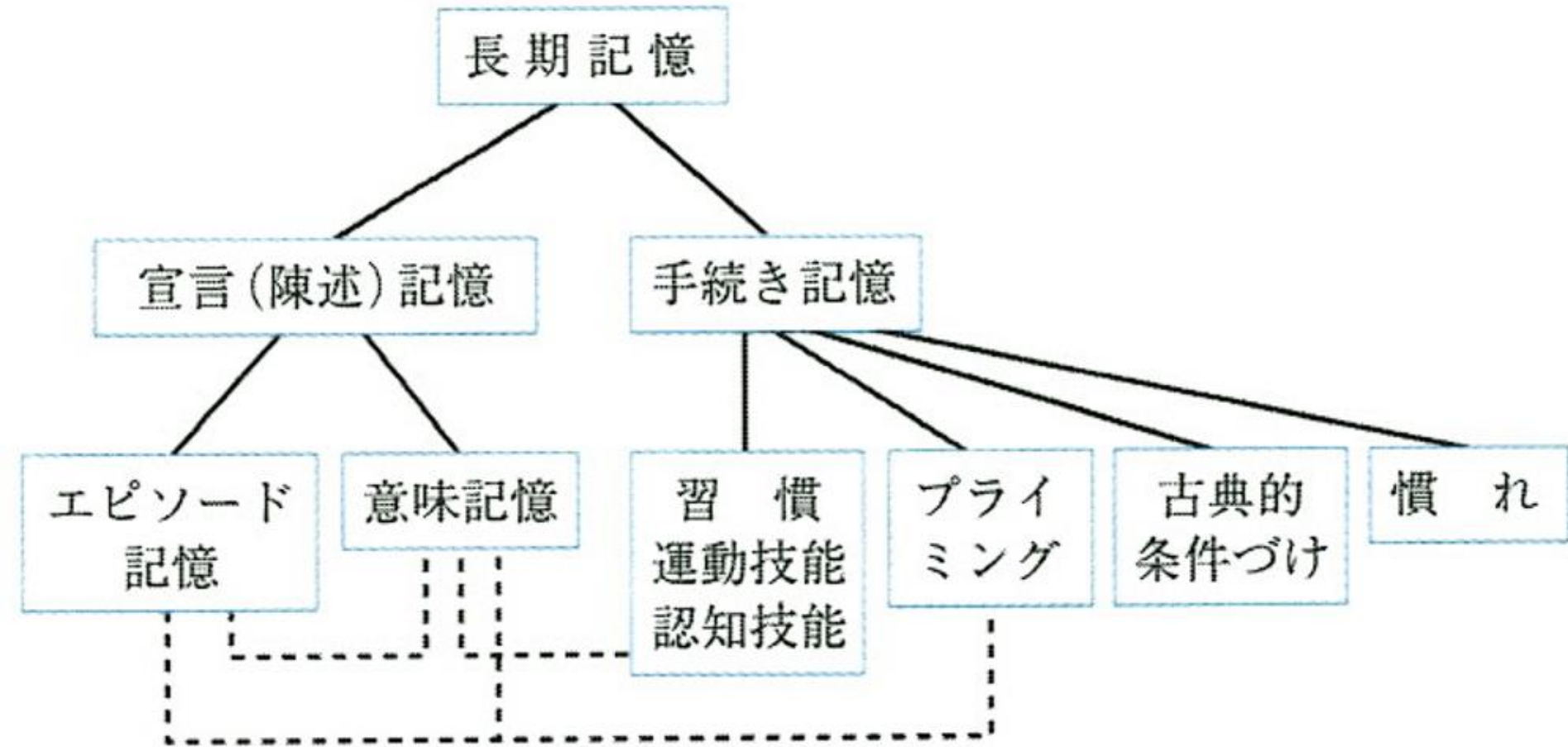


図5-7

長期記憶の分類

- 宣言記憶
 - 言語化できる
 - 意図的・意識的に想起される
 - エピソード記憶・意味記憶
- 手続き記憶
 - 言語化されない
 - 意識的な処理をほとんど伴わない
- 例外もある

エピソード記憶

- 自身の経験・出来事の記憶
- 日常生活における具体的経験
- いつ・どこで・何が起こったか

- 事実
- 単語の意味
- 抽象的概念同士の関連
- 概念を扱うときの規則

- 例：箸の操作・自転車の操作
- いわゆる、「身体で覚える」

- 反復練習によって学習されることが多い
 - 学習のはじめ
 - 意識的に注意を向けなければならない
 - 学習が進むと
 - 意識的な注意をあまり向けなくても自律的に技能が実行される

- 情報の受け入れ準備状態・素地
- ある刺激を観察
- その後、同じ刺激の認知的処理が容易になる

古典的条件づけ

- 繰り返し提示される2つの刺激間の同時性についての学習
- 例：
 - 「光→エサ」を繰り返し提示
 - エサと光の同時性を学習
 - 光の点灯だけで唾液分泌
 - 「音→眼に空気を吹きかける」を繰り返し
 - 音と空気の同時性を学習
 - 音を聴くだけで瞬き

慣れ

- 順応
- など

記憶の調べ方

●再生課題

○例

- 色々な単語を覚える
- 覚えた単語を書く

●再認課題

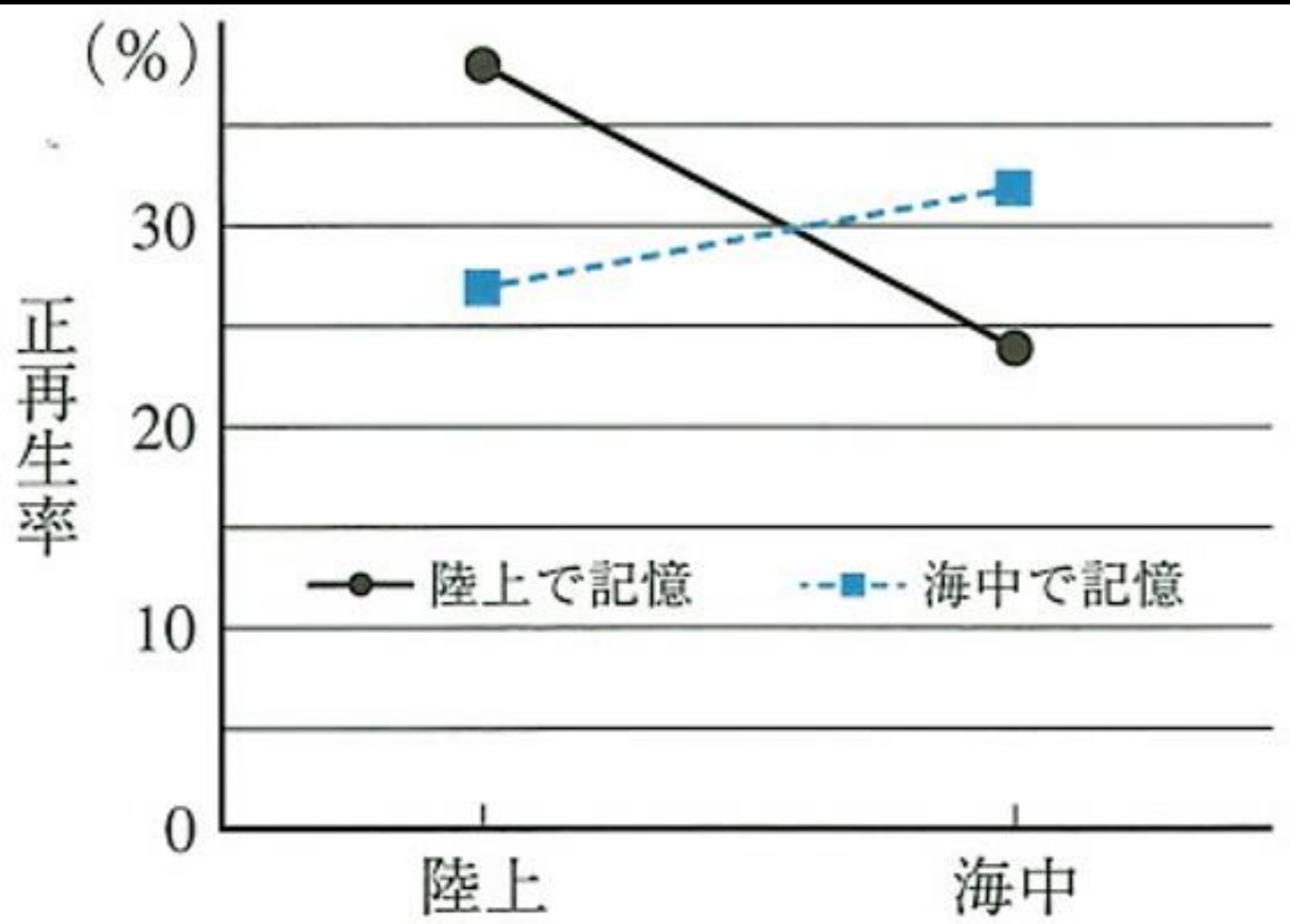
○例

- 色々な単語を覚える
- ある単語を見て、覚えた単語かどうかを当てる

符号化特殊性

●符号化の際の状況が検索に影響を与える

図5-12



正再生率

●減衰説

- 記銘後、想起することなく放置→記憶痕跡が崩壊・減衰
- 情報そのものが崩壊・減衰
- 情報同士の連結が崩壊・減衰

●干渉説

- ある対象が、別の記憶により、記憶されにくくなる
- 記銘する直後・直前の経験により、記憶が妨害される

●両方とも起こる

忘却の早さ・程度の評価

●再学習法(節約法)

○記銘を2回行う

○かかった時間・復唱した回数などを測る

○節約率(保持率)

$$= \frac{\text{1回目の所要時間} - \text{2回目の所要時間}}{\text{1回目の所要時間}}$$

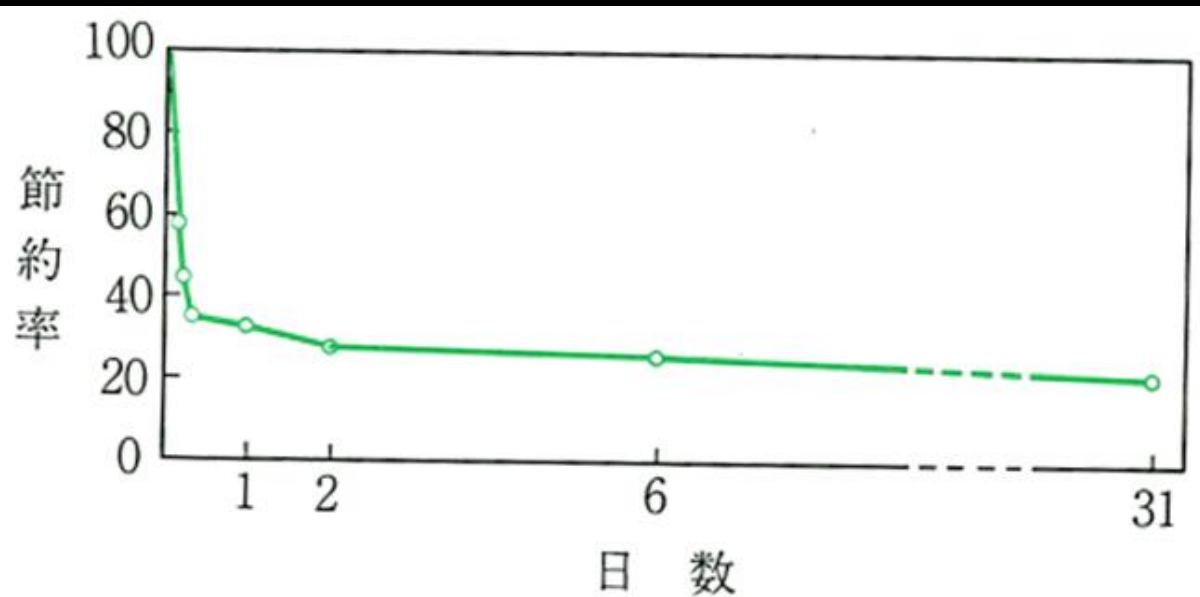


図5-9